

< 参考資料 >

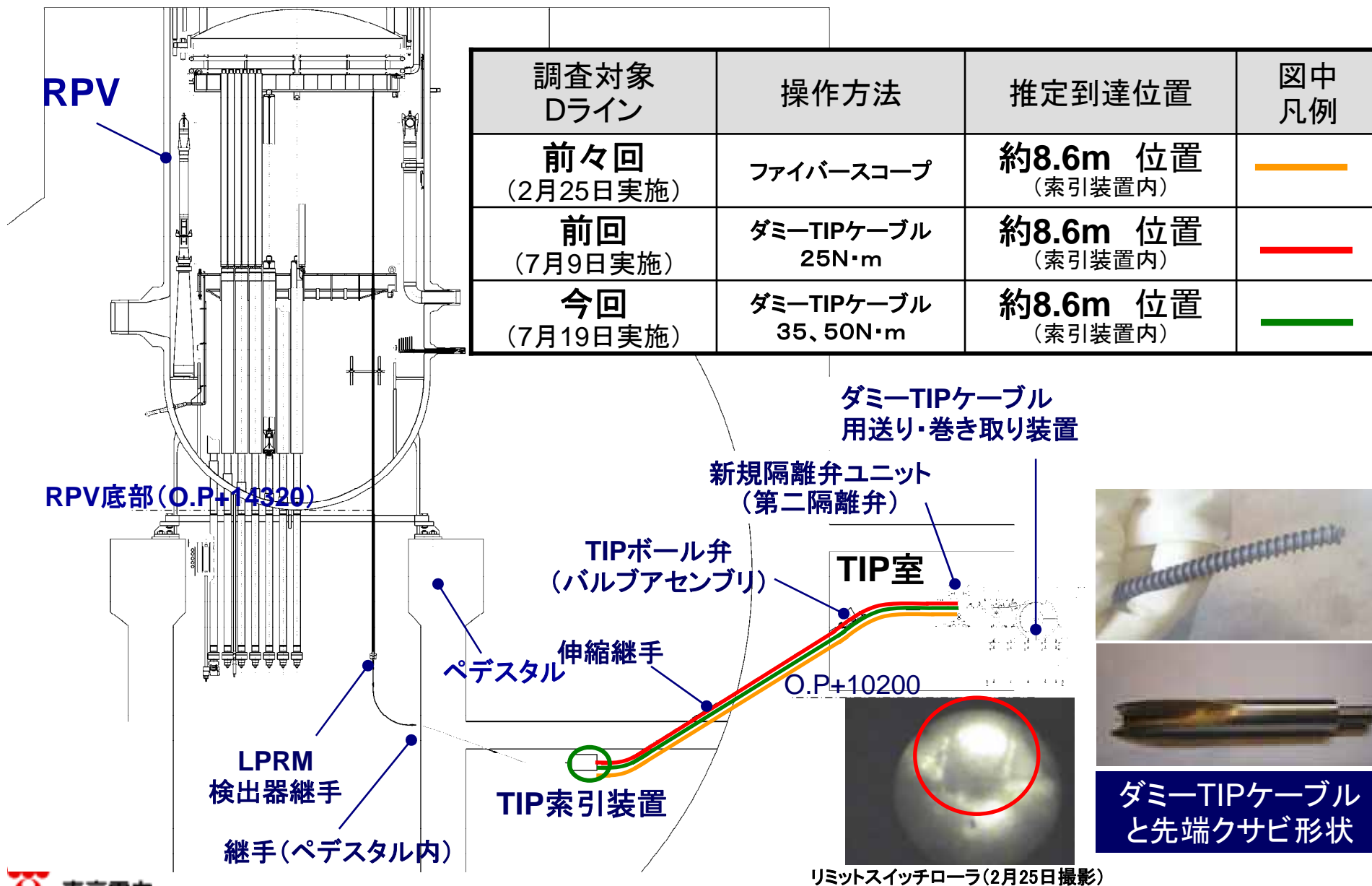
2号機TIP案内管健全性確認における 追加作業の結果について

2013年7月19日
東京電力株式会社



東京電力

1-1. 作業結果(到達位置)

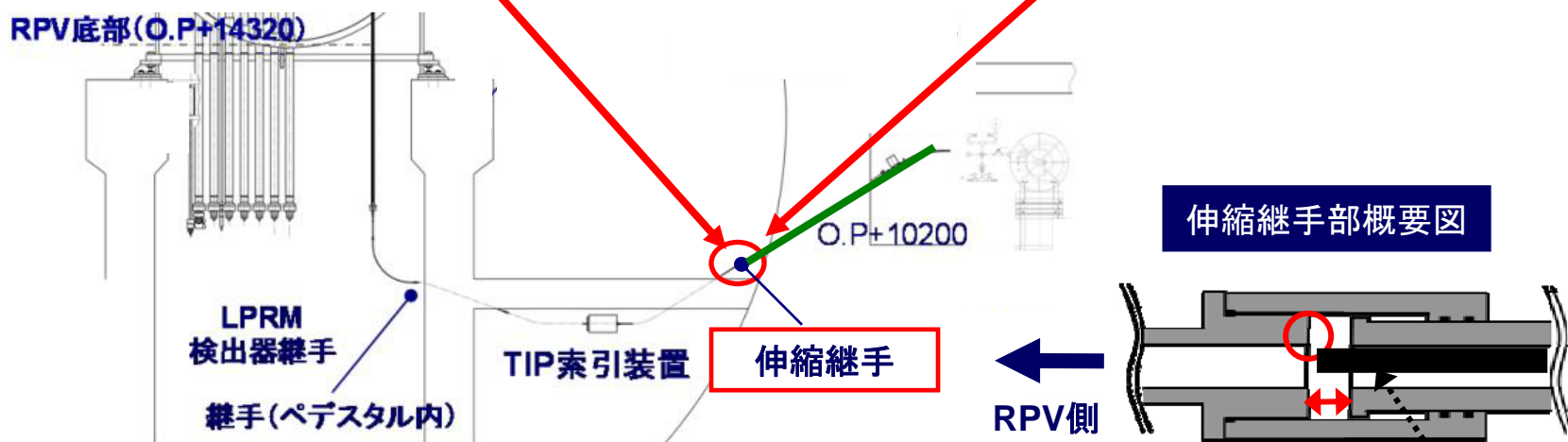


1-2. 案内管内状況(写真)



伸縮継手

伸縮継手手前



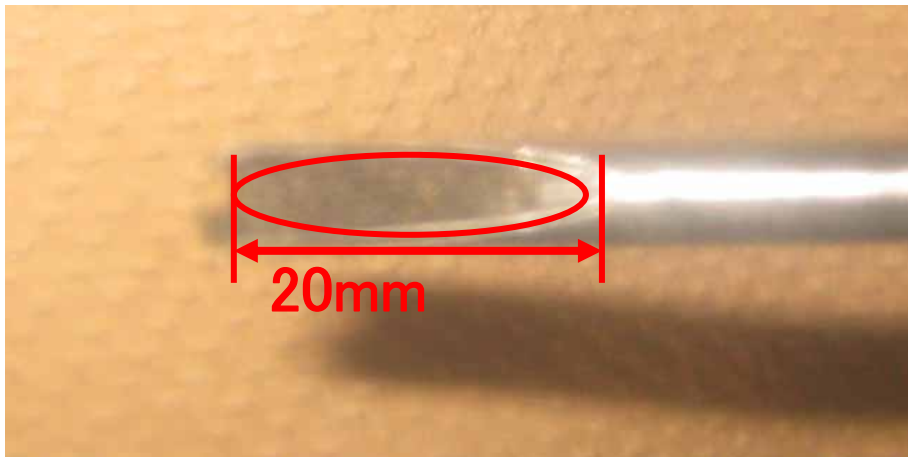
1-3. 付着物状況(写真)

■ダミーTIPケーブル先端



(7月9日)

- ダミーTIPケーブルを引き抜き後、先端部に付着物を確認。
 γ 線:14.0mSv/h $\gamma + \beta$ 線:30mSv/h



(7月19日)

- ダミーTIPケーブルを引き抜き後、全体的に付着物を確認。
 γ 線:95.0mSv/h $\gamma + \beta$ 線:120.0mSv/h

2. 作業結果

■作業員の被ばく線量実績

線量最大値:1.27mSv(計画線量:3.00mSv)

■作業結果

- Dライン第二隔離弁入口フランジよりダミーTIPケーブルを35、50N・mで挿入。
前回と同様の約8.6m位置で挿入不可。
- ダミーTIPケーブル先端に、全体的に付着物を確認されたことから、リミットスイッチの奥側に付着物があることが判明した。
(γ 線:95.0mSv/h $\gamma + \beta$ 線:120.0mSv/h)
- ファイバースコープによる確認を行ったが、伸縮継手までしか挿入できず、リミットスイッチローラの状態を確認できなかった。

【推定原因】

ダミーTIPケーブルを挿入した際に伸縮継手の間隙が広がり、ファイバースコープ先端が伸縮継手内の端面に接触したため、挿入不可になったと考えられる。

■今後の対応

索引装置を突破できなかったため、現工法による調査を断念し、今後の対応方針を検討する。